



## グローバル教育(3年生) 2/16(金)

### 国際基督教大学高等学校3年生 杉田優樹さん

2月16日(金)、英語の授業時間を活用して、高校3年生の杉田優樹さんによる講演とワークショップを開催いたしました。優樹さんの祖父である杉田進さんは、太良町で「ご縁クラブ」を主催されています。今回、本校の地域コーディネーター・川島さんと杉田さんとの「ご縁」で、本校3年生に向けて、「高校生の可能性は無限大！自分の常識を覆し、夢に向かうには。」というテーマで講演をしていただきました。優樹さんは、国際基督教大学高等学校の現役高校3年生です。この学校は、帰国子女が大多数を占め、エネルギー溢れる生徒に溢れているとのこと。優樹さんは、この学校で生徒会長を務め、また、「LimitFree」という運営サイトを現役高校生メンバーで立ち上げ、主に中学・高校生相手に、自分探し・夢探しの手助けをされています。

講演の前半では、A：優樹さん自身の韓国での中学時代から高校入学、そして卒業間近の今までのような挑戦・失敗・出会いを経て将来の夢を育ててきたのか、B：「勉強」を好きになり伸ばすためのマインドセット、C：優樹さん自身がアメリカの大学に進学して取り組みたいこと、など多良中3年生に少しでも刺激になればという思いでお話がありました。中でも、

- ① 夢がなくとも焦らなくてよい
- ② 「高校生だからできない」という考え方をやめ、「とりあえずやってみる精神」を持つ
- ③ 人との出会いを大切にしていって一歩ずつ進む

を3つのポイントとして挙げられました。

後半のワークショップでは、自分の職業適性タイプを診断する「RIASEC分析」を通して、その分析結果から、生徒自身のこれからの人生の探究活動に向け、目標立てから最初の一步（5分でできるアクション：自分探しへの第一歩を踏み出すのに必要なステップ）を体験しました。多良中の生徒たちも、時間を忘れ、終始自分発見の活動に夢中になって取り組んでいました。

杉田優樹さんは、高校卒業後、アメリカの最高峰の大学群（アイビーリーグの大学）への進学を希望されています。今後、東京に戻られてからはそれらの大学とのインタビューに挑むとのこと。今年の9月からは、アイビーリーグのいずれかの大学で脳科学の分野の研究に勤しみたいと優樹さんは考えています。



裏面に生徒の感想を掲載しています。

返信欄 (表面) 通信のご感想、本校へのご質問やご意見などお聞かせ下さい。「見ました」だけでも結構です。

## 生徒の感想より

○杉田さんとの交流を通して、自分の中で革命が起きました。勉強という概念がくつがえされました。勉強だけじゃなく、何事も受け身のままでいでは何も変わらないし、チャンスはないと分かりました。(原紗希)

○今回の講演では、自分が想像していた高校生活とは全く違ったことばかりで衝撃を受けました。それに「とりあえずやってみる精神」「人との出会いを大切に一步一步ずつ進む」など自分に足りないことが大切であることが分かりました。(境田瑠威)

○私は杉田さんの講演を聞いて常に疑問を持つことが大切だということが分かりました。苦手な教科を少しでも好きになれるように、毎回の授業を集中して取り組みたいと思います。ネガティブな考え方をやめて、まず挑戦してみます。(山下純鈴)

○優樹さんの話を聴いて、今までたくさんの挑戦、失敗、出会いを経て将来の夢を育んできたのかを知ることができて嬉しかったです。私は夢がなくて焦っていましたが、焦らなくてもよいと思うことができました。高校では、「高校生だからできない」という考え方は捨てて、何事にも挑戦し頑張っていきたいと思います。

(新宮碧芭)

## 3月の主な行事予定

下校完了 18:15 (~3/22)

- 1 (金) 3年面接指導
- 5 (火) 県立高校一般選抜試験(国・理・英)  
1・2年授業参観、学年学級懇談会  
スクールカウンセラー来校日(AM)
- 6 (水) 県立高校一般選抜試験(社・数・面接)  
読み聞かせ
- 7 (木) 卒業式練習(3年→全学年)、式準備
- 8 (金) 第77回卒業式
- 11 (月) 第5回PTA常任委員・評議員会 19:00~
- 12 (火) メダリストによる柔道授業 9:35~11:30  
スクールカウンセラー来校日(PM)
- 13 (水) 県立高校合格者発表
- 17 (日) 県下一斉部活動休養日(第3日曜日)
- 18 (月) 学年学級指導(春休みの生活について)
- 20 (水) 【祝】春分の日
- 21 (木) スクールカウンセラー来校日(PM)
- 22 (金) 修了式・辞任式【給食なし】
- 25 (日) 学年末休業・春季休業(~4/6まで)

## 校長コラム 「その時にならないと分からない」

以前勤務していた学校で、「中学校3年間を振り返る」という卒業直前の3年生の授業を見る機会がありました。その中で、「もし入学直後の自分へアドバイスを送るとしたら」という質問に対する生徒たちの答えのいくつかを紹介します。

○1日30分だけでも勉強しておこう!そしたら受験勉強が少し楽になるし、確認するところが絞られる。

○普段から誰から見られても恥ずかしくないようにする。

○自分がしたしこ返ってくる。よい結果が欲しいならその分頑張る。

○自分の意見を他人に伝えるということに慣れていての方が良い。受験では面接があるので慣れておけば落ち着いて自分の意見が言えるし、自分への自信にもつながります。

さすがに3年間を経験した生徒と思わせる言

葉です。しかし、同じようなことは1・2年生の時にも先生や親から聞かされていたのではないのでしょうか。ただ、その時には本気で受け止めたり、実行したりできなかっただけだと思います。

確かに物事にはその時にならないと分からないことがあります。例えばスポーツや習い事などである程度経験したりできるようになったりした時に初めて、「あ〜、これはこういうことだったのか」と分かることがあります。しかし、人生においては気づいて行動に移すのが早ければ早いほど良いというのが一般的です。例えば部活動。地区中体連まであと4か月、残り100日程度しかありません。その時にならないと分からないことが多いのですが、少しでも早く行動に移せば移すほど有利なことは間違いありません。



切り取り線

返信欄 (裏面) 生徒氏名 ( ) 年 ( ) 組 ( )